

令和 7 年 7 月 22 日

## 令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

岡山県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
学校法人就実学園 就実小学校	岡山県教育委員会	私立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
就実小学校	<a href="https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12565/">https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12565/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
就実小学校	<a href="https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12562/">https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12562/</a>	<a href="https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12561/">https://www.shujitsu-e.ed.jp/information/12561/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ⊙計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
  - ・ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

特になし

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ⊙実施している
- ・実施していない

## &lt;特記事項&gt;

- ・ 参観日では、イマージョンの授業を公開している。
- ・ オープンスクールの際には、イマージョンの授業を公開するだけでなく、イマージョンの取組を説明し、児童の英語のスピーチ等を見てもらったり、英語体験を実施したりしている。

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校は、開校 10 年目を迎え、新たな学校教育目標「グローバル・シティズンシップを備えたクリエイティブな就実の子」を掲げ、その実現に向けて、就実型イマージョン教育のさらなる推進に全教職員一丸となって取り組んできた。

その結果、全体としては、児童の意欲面の育成において目標値を大きく上回る成果となった。

また、卒業時の目標レベルである CEFR A 2～B 1 を、卒業生の 85% (2025.1 実施 TOEFL 結果より) が達成できており、6か年のイマージョン教育の成果が客観的なデータからも把握できる。

しかしながら、英語を苦手としている児童も一定程度いる。英語能力においては、日常的な学習の様子や TOEFL・ケンブリッジ英検の結果から考察して、4技能の育成において、Reading と Writing に課題がある。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校の学校教育目標は「グローバル・シティズンシップを備えたクリエイティブな ” 就実の子 ” を育む」である。この目標と英語イマージョン教育は次のように非常に親和性が高い。本校の英語イマージョン教育は、単なる文法や単語の暗記ではなく、英語を考えたり表現したりするコミュニケーションのツールとして日常的に使用できることを目指している。そのためグローバル・シティズンとしての取り組みの一つである Earth Day では、さまざまな国の児童と地球環境について英語を使って意見を交流することができた。また、グローバルな課題にクリエイティブに取り組むには、多様な価値観を理解し、受け入れる姿勢や物事を多角的に捉える力が必要である。これらのことについては、児童は日常的に、さまざまなルーツを持つイマージョン教員との英語での交流や授業、そしてオーストラリアの姉妹校から 1 学期の終わりに交流にやってくる同世代の児童との活動により、実体験を伴った理解、実際に使える力の向上につながっている。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

今後は、『一人一人の興味関心を大切にし、自分が主語の学習に取り組めるよう、個別でのきめ細やかなサポートに関する研究』と『Reading と Writing に関して、技能面の向上を図るための研究』がさらに必要と考えられる。

課題の改善のために、次年度以降も、校内研究で就実型イマージョン教育の推進を図るとともに、「各学年のイマージョン教科年間指導計画」と「English 及び Math の各学年使用教材、到達目標の目安」の見直し、さらに、「就実小学校 Language Policy」の更なる充実に向けて研究し、全教職員の共通理解のもとに取り組んでいる。

また、令和 4 年度 1 月から取り組んでいる探究的な学びを通して英語力の向上を目指す『Math プロジェクト』の研究を継続している。この取組は、Math に限らず、すべての教科で探究的な学びを取り入れた授業設計ができるよう、校内研究として、全教員で実践している。